

# 「沖縄県立八重山病院医療文書電子管理システム導入業務」審査基準書

## 1 基本的な考え方

### (1) 業者の選定方法

業者の選定にあたっては、公募型プロポーザル方式を採用する。

提案内容の評価にあたり、公平かつ客観的に評価し、最適なシステムを選定するために、「性能等評価点」と「価格等評価点」の2つの観点で総合評価を行う。

- ・「性能等評価点」－システム性能と企画提案内容の評価
- ・「価格等評価点」－価格面の評価

評価点の配点については、【表1：評価点配点表】を参照すること。

なお、評価は当院に設置する「沖縄県立八重山病院医療文書電子管理システム導入業務業者選定委員会」（以下「選定委員会」という）により行う。

### (2) 性能等評価点

性能等評価点は、「要件審査」「提案審査」の2つに分けて評価する。

- ・「要件審査」－「沖縄県立八重山病院医療文書電子管理システム導入業務要求仕様書」（以下「仕様書」という）の各仕様項目に関する技術回答書の回答内容の評価を行う。

なお、評価は後述の「2 性能等評価点の評価方法」に基づいて行う。

- ・「提案審査」－企画提案内容(提案書及びプレゼンテーション)の評価を行う。

なお、評価は後述の【表2：提案評価項目】に基づいて行う。

### (3) 価格等評価点

価格等評価点は、導入費用および保守費用（令和5年1月23日から令和12年1月22日までの7年分）に関する見積提案内容の評価する。

なお、評価は後述の「3 価格等評価点の評価方法」に基づいて行う。

### (4) 配点

上記(2)及び(3)の配点は「性能等評価点」を600点、「価格等評価点」を400点とし、合計1,000点満点とする。

評価項目毎の配点は、以下のとおり。

【表1：評価点配点表】

評価項目	性能等評価点		価格等評価点
	要件審査	提案審査	
①技術回答書(ソフトウェア要件)	350		—
②技術回答書(ハードウェア要件)	100	—	—
③企画提案内容(提案書・プレゼンテーション)	—	150	—
④見積提案内容	—	—	400
合計	450	150	400
	600		

(5) 有効数字

「性能等評価点」の「要件審査」、「提案審査」及び「価格等評価点」の算出にあたっては、小数点以下切り上げとする。

(6) 合計点数の同一の者が2者以上あるとき（同点のとき）の対応

①提案者それぞれの「性能等評価点」「価格等評価点」とも異なる場合

⇒「性能等評価点」が高い者を上位とする。

②提案者それぞれの「性能等評価点」「価格等評価点」とも同じで「見積提案内容の導入費用」が異なる場合

⇒「見積提案内容の導入費用」が低い者を上位とする。

③提案者それぞれの「性能等評価点」「価格等評価点」とも同じで「見積提案内容の導入費用」も同額の場合

⇒選定委員長の評価点数が高い者を上位とする。

## 2 性能等評価点の評価方法

### (1) ソフトウェア要件の評価採点方法

●業者から提出される技術回答書を基に、文書システムのソフトウェア、ハードウェア要件の評価基準に照らし合わせて得点を付与する。

評価基準項目は【実現】・【重要度】とし、下記に示した点数と係数を乗じたものが各要件の得点となる。

#### 【実現】

○：4点（記載されている要件は、プロダクトのパッケージ機能で実現できる場合）

□：4点（記載されている要件は、パッケージ機能にはないがカスタマイズや関連プロダクト、オプション機能により見積り範囲内で実現できる場合）

△：1点（記載されている要件は、パッケージ機能にはないがカスタマイズや関連プロダクト、オプション機能により実現可能だが、別途見積なもの）

×：0点（記載されている要件は、提案しているプロダクトでは実現できない場合）

#### 【重要度】

S：5倍（文書システムの要件として必要（要件を満たせないものは失格レベルのもの）

A：2倍（文書システムの要件として満たされるべきもの

B：1倍（文書システムの要件として満たすことが望ましいと思われるもの

C：0倍（文書システムの要件として特に満たす必要性を感じないもの。もしくは評価不要。

●次に、上記の合計点数を評価基準合計点数で除して割合を計算し、350点（【表1：評価点配点表】より）に乗じた点数が、ソフトウェア要件の評価点である。

（計算式）

・ソフトウェア要件の評価点＝合計点数÷評価基準合計点数×350点

### (2) ハードウェア要件の評価採点方法

●提案業者から提出される技術回答書を基に、文書システムのソフトウェア、ハードウェア要件の評価基準に照らし合わせて得点を付与する。

評価基準項目は【実現】・【重要度】とし、下記に示した点数と係数を乗じたものが各要件の得点となる。

#### 【実現】

- ：4点（記載されている要件は、プロダクトのパッケージ機能で実現できる場合）
- ：4点（記載されている要件は、パッケージ機能にはないがカスタマイズや関連プロダクト、オプション機能により見積り範囲内で実現できる場合）
- △：1点（記載されている要件は、パッケージ機能にはないがカスタマイズや関連プロダクト、オプション機能により実現可能だが、別途見積りなもの）
- ×：0点（記載されている要件は、提案しているプロダクトでは実現できない場合）

#### 【重要度】

- S：5倍（文書システムの要件として必要（要件を満たせないものは失格レベルのもの）
- A：2倍（文書システムの要件として満たされるべきもの
- B：1倍（文書システムの要件として満たすことが望ましいと思われるもの
- C：0倍（文書システムの要件として特に満たす必要性を感じないもの。もしくは評価不要。

●次に、上記の合計点数を評価基準合計点数で除して割合を計算し、100点（【表1：評価点配点表】より）に乗じた点数が、ハードウェア要件の評価点である。

（計算式）

$$\cdot \text{ハードウェア要件の評価点} = \text{合計点数} \div \text{評価基準合計点数} \times 100 \text{点}$$

### (3) 提案書・プレゼンテーション要件の評価採点方法

●提案内容説明書およびプレゼンテーションにおいて、【表2：提案評価項目】に示す内容に対して、各委員が評価する。

各項目について、5段階評価とする。（優 5→4→3→2→1 劣）

評価点に各項目に設けた倍数を乗じた点数を各項目の得点とする。

●次に、各委員のつけた得点を全員合計し、その総得点を委員の人数で除し、その得点が提案書・プレゼンテーション要件の評価の評価点である。

（計算式）

$$\cdot \text{提案書・プレゼンテーション要件の評価点} = \text{各委員の得点を足した総得点} \div \text{委員人数}$$

【表2：提案評価項目】

評価項目	評価の視点	配点	5段階評価	倍数	得点
1 取組姿勢	<p>○当院が求める機能を満たしているか。</p> <p>○基本的な機能に加え、システムの使いやすさや現場の負担軽減になる機能が提案されているか。</p> <p>○現行の機能を踏襲できない場合は、代替案または改善案が提示されているか。</p> <p>○今回の導入範囲内で院内業務改善につながる提案があるか。</p> <p>○費用対効果が高いと感じられる提案か。</p>	20	1～5	4	
2 システム導入体制	<p>○システム構築～本稼動にかけての体制図及び適切なスケジュールが提示されているか。</p> <p>○貴社と当院の役割分担は適切か。</p> <p>○導入時の環境整備（テスト、操作研修・マニュアル等）は適切か。</p>	20	1～5	4	
3 現行システムからのデータ移行（文書データ、マスターデータ）	<p>○現行システムからのデータ移行方法が具体的に示されているか。</p> <p>○文書データのタイムスタンプ移行についての対応法が示されているか。</p>	20	1～5	4	
4 円滑な稼働にむけての準備	<p>○システムを稼働させるために、富士通や関係ベンダと調整を円滑に行えるか。</p> <p>○システム導入時の作業内容・作業量について、当院職員の負荷ができる限り軽減される提案となっているか。</p> <p>○他院での富士通電子カルテとの接続実績、安定稼働の実績があるか。</p>	20	1～5	4	
5 運用及びサポート・保守体制	<p>○システム稼働後の運用におけるシステムの安定性や機能・性能についての提案がされているか。</p> <p>○災害、停電やネットワーク障害など発生時の対応や、データのバックアップ方法は適切か（障害が発生してもシステムが停止することはないか、原因究明・再発防止の対策が十分講じられるか）。</p> <p>○相談窓口の対応時間や内容等サポートは適切か。</p> <p>○システム稼働後の保守体制について十分に確立されているか。</p>	30	1～5	6	

6 将来的な 対応	○機能の追加やカスタマイズ、業務端末増設等が必要となったときに保守の範囲内で対応可能か。 ○ランニングコスト（保守料、タイムスタンプに伴う費用等）は妥当か。 ○次期システム移行時において、当院の求めに応じて、必要な情報を無償で提供すること。	20	1～5	4	
7 プレゼンテーション・ヒアリング	提案内容についての総合評価 ○プレゼンテーションの内容が簡潔かつ明瞭であるか。 ○質問等に対する応答が明快かつ迅速であるか。 ○本業務に積極的に取り組む姿勢が伺えるか。	20	1～5	4	
合計		150			

### 3 価格等評価点の評価方法

(1) 見積提案内容（導入費用・保守費用）の評価採点方法
<p>●評価点を次のように算定する。</p> <p>見積提案内容の評価は、導入費用と7年分の保守費用を含めた総額（税抜）で行う。</p> <p>全提案業者のうち見積提案金額の1番低い金額（以下「最低提案価格」という）を分子とし、提案業者の見積提案金額を分母とする。それに400点（【表1：評価点配点表】より）を乗じた点数が、価格等評価点である。</p> <p>（計算式）</p> <p>・価格等評価点＝（最低提案価格／提案業者の見積提案金額）×400</p>